



ふくし湯梨浜

一人ひとりが輝き、安心と共感を生む福祉のまちづくり

町民皆様方にどうぞよい年になりますようお祈り申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染で大変な年でありました。社会福祉協議会（社協）では沢山の利用者に介護事業所等を利用していただいております。誰が感染してもおかしくない中で職員一人ひとりが「感染しない」「感染させない」を徹底致しました。また、事業・行事等を縮小されるは中止し、ご迷惑をおかけしたのではなく、かと申し訳なく思っております。この上は一刻も早く終息することを願っております。そんな中につても町民の皆様には社協に何かとご指導ご支援ご協力いただきありがとうございました。

ところで、社協は地域福祉の推進、つまり高齢、障がい、その他様々な事情から福祉サービスが必要となつても、今までどおり家族、友人等との関係を保ち、社会や経済、文化などあらゆる分野に参加でき、誰もが自分らしく、誇りをもつて社会の一員として自立した生活が送れるような「地域社会」をつくることです。

誰もが生まれ育ったところで自分らしく生き、活動し、生涯を終えたいと願っていると思います。そのためには地域が安全で安心できるところでなくてはなりません。地域でお互いが支えたり支えられたりすることが必要です。「福祉は他人事」「きっと誰かが何とかしてくれるだろう」といった意識では問題解決になりません。行政や社協、地区の一部の役員だけに「おまかせ」ではなく、自分たちでできることは住民自らも動くろしくお願いします。

今年も町民皆様方ご指導ご支援ご協力をよろしくお願いします。



湯梨浜町社会福祉協議会

卷之三

会福祉法人 湯梨浜町社会福祉協議会
0851- TEL(0858)34-6002 FAX(0858)34-6013
URL:<http://www.yurihama-shakyo.jp>

令和3年1月号
No.128

江戸切手
ふくし湯梨浜

ありがとうございました

今年も門田地区農地・水・環境保全会より、もち米30kgをいただきました。いただいたもち米は、各事業所で行われるもちつき会や配食サービス等で使わせていただきます。

その他にも、数名の個人の方から年末に米の寄附をいただきました。こちらも配食サービスや生活困窮世帯の食糧支援に役立たせていただきます。ありがとうございました。



湯梨浜町社会福祉協議会 年末年始の業務のお知らせ

※暮らしサポートセンターゆりはま(生活困窮相談・資金貸付業務等)は、12月29日から1月3日まで
携帯電話(080-6321-0650)で相談受付しております。

湯梨浜町ふれあい総合相談所 1・2月の相談日

相談の種類	相談の内容	開設場所・開設日(時間13:00~16:00)
心配ごと (民生児童委員)	・日常生活上のいろいろな問題	ハワイアロハホール
行政 (行政相談委員)	・行政機関への意見・苦情	1月 12日(火) 2月 9日(火)
人権 (人権擁護委員)	・人権に関わる問題	

◆専門相談 1・2月の相談日

相談の種類	相談の内容	開設日(13:00~15:00)	予約締切日	開設場所
法律 (弁護士)	・法律上の難しい問題	1月6日(水) 2月3日(水)	1月4日 1月29日	ハワイ アロハホール

*東京招請を希望される方は、東京に申し込めるが必須要件になりますので、渋谷近町社会福祉協議会窓口にて申請ください。窓口大部TEL 03-3251-0225

◆令和二年十月一日～十一月三十日
ご厚志ありがとうございました

こんにちは! 東郷通所介護事業所です

東郷通所介護事業所では、温泉で心も身体もリフレッシュ!リハビリでめざせ若返り!を合言葉に、おひとりおひとりの目標に向けて支援させていただいている。その様子を紹介します。

リフレッシュ



みんなで若返り

リハビリでは皆様が元気で楽しく自宅での生活が続けられるよう、マシンや徒手療法を用いて理学療法士の評価・指導のもと頑張って取り組んでいます。時には外に出て、歩行訓練を行います。



(階段昇降訓練)



(屋外歩行訓練)



(マシントレーニング)

<ご利用者様の声>

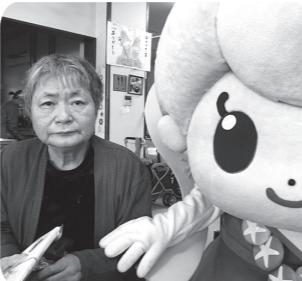
「運動して歩けるようになったわあ」「楽になったわあ」「もっと頑張れるなあ」などなど…
皆さまがとっても意欲的にされています♪

笑顔満載



創作活動をされたり、共通の趣味をもつた方同士で話を弾ませたり、談笑をされたりと、とても良い雰囲気で過ごされています。

敬老会では皆様の長寿をお祝いしました。また、秋には気分転換を図るため紅葉ドライブにも出掛けました。皆さまの笑顔に沢山会える毎日です♪



居宅介護支援事業所です!

介護の悩み

一人で背負っていませんか?
誰かに話せていますか?



- ・親が認知症ではないかと心配
- ・介護に疲れた、誰かに替わってほしい
- ・退院予定だけど、自宅での生活を考えると不安だ
- ・これからも家で暮らしていきたい
- ・末期がんと診断されたが病院でなく家族に囲まれて自宅で最期を迎えたい

介護が必要になっても住み慣れた地域でその人らしい生活を続けるよう私たちケアマネジャー（介護支援専門員）は、ご本人・ご家族の気持ちに寄り添いながらサポートさせていただきます。

具体的には

- ・ご本人やご家族からの介護に関わる相談を受けます。
- ・在宅生活を支える上で何が必要なのかを検討し、問題を解決するために何に取り組み、どのようなサービスを利用するのか計画（ケアプラン）と一緒に考え作成します。
- ・介護サービス（訪問介護、訪問入浴、訪問看護、通所介護、通所リハビリ、短期入所、福祉用具のレンタル・購入、住宅改修など）が適切に利用できるようサービス事業所をはじめ、医療機関や行政機関と連絡調整を行います。
- ・サービス開始後の定期的な状況確認（モニタリング訪問）と必要に応じて計画の見直しを行います。

「地域のつながり」を大切にし必要に応じて民生児童委員や地域の方とも連携し支援します。

介護についてお困りのことやご心配なことがあれば、私たち社協のケアマネジャーにお気軽にご相談ください。みなさまのご相談をお待ちしています。

湯梨浜町泊1085-1 保健福祉センターワーク内
湯梨浜町社会福祉協議会 居宅介護支援事業所

営業日 月～金 8:30～17:15
0858-34-6008

たんぽぽの会料理講習会

たんぽぽの会は、今まで40年近く毎週水曜日に羽合地区の高齢で配食が必要な方に手作りのお弁当をお届けしていました。しかし、今年は春から新型コロナウイルス感染予防のため、配食サービスを中止したり再開したりと、初めての経験の中で会員の皆さんにも大変ご迷惑をおかけしました。また、毎年楽しみにしていた親睦研修会なども中止となりました。

その中で何か楽しい活動をしたいと思い、コロナ感染予防を考えて各班2名と限定して会員交流を兼ねた「簡単おせ



ち料理」の講習会を開催し、栄養士の高濱さんにご指導をいただきながら豪華なすばらしい「おせち」ができあがり全会員（52名）にお配りしました。お正月には、このおせちを参考にそれぞれのご家庭の味で作っていただけたらと思っています。

新型コロナウイルスが一日も早く終息し楽しいボランティア活動ができる事を願っております。

たんぽぽの会 会長 吉川久美江

「日常生活自立支援事業」ってなに？

福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをし、安心して生活できるように支援します。

こんなことで困ったり
不安を感じたことはありませんか？



福祉サービス利用のお手伝いをします。

- ① 福祉サービスを安心してご利用いただけるようお手伝いします。
- ② 日常生活に必要な払い戻しや支払いをお手伝いします。
- ③大切な通帳や判子、証書などを安全に保管します。

お問い合わせ先 湯梨浜町社会福祉協議会 電話34-6002

とうごう配食ボランティア会員交流会

10月26日（月）とうごう配食会員交流会を行いました。とうごう配食ボランティアは虹の会（舍人）、つるの会（松崎）、ほほえみ会（東郷）、ボランティアはなみ（花見）の4グループの集まりです。

この日は会員23人でバスに乗り蒜山、大山にお出かけをしました。蒜山では鬼女台、鍵掛峠で大山の色鮮やかな紅葉を楽しみました。昼食は「豪円湯院」で大山の水を使用した手作り豆腐を頂きました。とうごう配食では毎週火曜日にお弁当を届けていましたが、今年は新型コロナウイルス流行の影響で中止の月もあり会員も不安な日々を過ごしました。交流会もどうなるかと心配していましたが予定通りにできました。天気にも恵まれほっとする一日でした。



とうごう配食ボランティア 代表 岡本ゆう子



泊ふれあい給食ボランティア交流研修

11月20日（金）に泊ふれあい給食のボランティアが会員交流研修を行いました。鹿野城跡公園を散策後、ようこそ亭で昼食をとり、道の駅気楽里で買い物を楽しみました。ボランティア同士や職員との交流を深めるだけではなく、ふれあい給食に関する意見交換も行い、とても有意義な研修となりました。

時間をかけて準備してきたので皆さんに楽しんでいただけて嬉しかったです。雨だけがどうしても心配だったけど降られることなく終えられてよかったです。

泊ふれあい給食 代表 田嶋早苗



泊小学校疑似体験学習



11月5日(木)に泊小学校4年生の生徒14名を対象に高齢者疑似体験と車椅子体験を行いました。生徒たちは関節が曲がりにくくなる装具をつけて障害物に挑んだり、視界が狭く見えにくくなる特殊な眼鏡を付けて文字を読むなど、体の不自由な高齢者の生活を疑似体験したほか、車椅子の操作と、操作する際の注意点も学びました。

生徒の感想

○こんなに大変なんだなと思いました。腰が痛かったし、すごく座るのが難しかったです。足が動きにくかったです。階段を上り下りするのが辛かったです。文字も読みづらかったです。80歳～90歳になると、腰が痛かったり、座ったりしにくいくらい分かりました。

○自分で車椅子を押すのはちょっと難しかったです。押されるほうは、段差の時に振動や段差を越えるところがちょっと怖かったです。乗るほうは、段が怖かったので、押すほうは声掛けやゆっくりのスピードなどすればいいと分かりました。結構難しかったし、小回りがきかなかったです。坂などでも落ちないようにシートベルトをつけたらいいと思いました。

○重たいものを持っていたらすすんで持っていくってあげたいです。杖をついている人が困っていたら声をかけたり支えたりしてあげたい。お年寄りで困っている人がいたら、自分から助けに行かないと！と思いました。これからはおじいちゃんとかに、「なんて？」などと何回聞かれても、何回でも答えてあげたいです。



泊小疑似体験



白内障の疑似体験



疑似体験用装具

・社協のりあいバス運行事業・

買い物、通院等で移送手段の確保にお困りの方にマイクロバス等を運行し生活の利便性を図り、在宅生活の支援を行います。現在42名の方がのりあいバスを利用されています。

対象者 ☆町内在住で一人暮らし・二人暮らし高齢者の方で本人が自動車運転免許証を所持されていない方
☆軽度の障がいがあり、本人が自動車運転免許証を所持されていない方で家族での送迎が困難な方
(ただし一人で自動車の乗り降り、買い物等ができる方)

運行範囲 湯梨浜町内
内 容 買い物、通院、金融機関、公的機関の利用
利 用 料 無 料
年 会 費 1,000円（登録会員制です）
運行日時 原則 毎週金曜日 午前9時から正午
申 請 等 利用を希望される方はお近くの町社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。



「いこいの日」

いこいの日とは… 社協版のサロンのことです。元気な高齢者が集まり、おしゃべりをしたり、レクリエーションや体操、趣味活動に参加することで閉じこもりを防止します。そして仲間づくりや、地域で元気に暮らすことを目的としたサロンです。

対 象 者 :湯梨浜町内在住の60歳以上の元気な方です。要支援、要介護認定をされている方は原則利用できません。

利 用 料 :1回の利用料は50円です。昼食弁当（外注）を希望される方は410円が必要です。

実施場所 :老人福祉センター東湖園（湯梨浜町旭）でおこなっています。入浴施設（かけ流し温泉）なので温泉もお楽しみいただけます。

申 請 等 :利用を希望される方はお近くの町社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。



※実施日 毎週木曜日
社会福祉協議会のバス、車で送迎いたします。

一日の流れ

9時	迎え	
10時	趣味活動	※日によって内容が異なります
12時	昼食	※入浴はお好きな時間にどうぞ…
14時	送り	